

総合戦略実行計画（案）に係る意見の内容と意見に対する市の考え方（8月22日 市議会全員協議会）

No.	市議会全員協議会意見	意見に対する市の考え方	担当課	計画案修正の有無	実行計画ページ番号
1	総合戦略目標値達成のための手段のうち、総合戦略目標値というのは何を目的としているか	総合戦略の目標値は、最下段に記載している。P10では、平成27年度54%であるものが、平成31年度には70%。この採用の仕方としては、市に愛着を持っている人の割合、市民意識調査による市に愛着を持っている人の割合が54%から70%に引き上げるとするのが総合戦略の目標値としている。	企画課	無	全般
2	まち・ひと・しごと創生総合戦略というものは、2040年の人口数値を45,000人から最終的に30,000人になるのを34,000人に増やそうというのが、最終的に総合戦略の目標値というように考えていた。 今のお話だと、一つ一つのものに対する目標値という説明があったが、個別のことは今までの基本構想、基本計画、実施計画の中で今までやってきて、何ら変わらない。市のスタンスを聞きたい。今までやってきたことと何ら変わらないことをやって、それが総合戦略だということで目標値を出すということが、何なのかということをもっと明確にして欲しい。	全体目標は、議員のご意見のとおりだということに考えているが、方策としては、一刻も早く少子化は食い止めなければならない。ただ、それは子育て支援策だけではなく、仕事づくりも自分のくらす地域を好きになることも重要であり、相互に関連して総合戦略は出来上がっている。	企画課	無	全般
3	地方創生法に基づく総合戦略というのは、あくまでも人口ビジョンの下で良い。要するに富津市をどう活性化させていくかという問題の中で、細かいところも一つ一つ大事かもしれないが、最終的には大きな目標がなければいけない。今後、この辺を踏まえて、創生会議はあれだけの方が集まっているので、もう少し有意義な会議にしていきたい。	今後も、丁寧な会議運営に心掛ける。会議資料の事前送付はもとより、会議の趣旨、討議の内容等も事前に周知して、円滑に会議が運営できるよう努める。	企画課	無	全般
4	事業シートの方の事業番号というのが右肩に記載してあるが、これはどのようにになっているのか。実行計画（案）と事業シートが連動していなければいけないと思ったが、その見方を教えて欲しい。	事業番号は、カラムがハイフンで4つに仕切られている。事業シートは、総合戦略以外の富津市の予算事業全てについて事業シートを作成する予定になっている。なので、富津市の予算事業の款項目節に従って事業全体を通して管理できるような形で事業番号というのが記載	経営改革推進課	無	全般

No.	市議会全員協議会意見	意見に対する市の考え方	担当課	計画案修正の有無	実行計画ページ番号
		してある。事業シートの事業番号は、あくまで予算事業の全体管理のためのコード番号で、総合戦略の番号と直接連動していないものとなっている。			
5	実行計画(案)と事業シートが連動するような番号はないのか。	事業シートと総合戦略との関連付けは、資料の目次の一覧表のページの対比で確認できる。	企画課	無	全般
6	できればシートを開いたときに、何ページに何ページから何ページにわたっているというのが分かる関連して見たときに、そこをもっと開いて見られるなということを思ったのと、折角事業番号というのを示しているのであれば、計画のほうの13Pを開くと事業シートの何ページから何ページだというのが分かる、そこから直ぐに飛べるので、しっかり見られたなと思うので、そこが事業番号になっていたらいいなと思って見たのだが、なっていなかった。	<p>実行計画と事業シートの関連は、実行計画(案)4Pから7Pの総合戦略実行計画一覧表の右から2番目の列に、実行計画ページ番号を記載し、実行計画に係る事業シートのページ番号を一番右の列に記載し、確認できる。また、事業シート(概要説明書)の1Pから4Pにも同じ一覧表を掲載し、どちらからでも確認できる。</p> <p>(追記) 実行計画(案)と事業シート(概要説明書)を1冊としたため、事業シート(概要説明書)の1覧表は、割愛した。</p>	企画課	無	全般
7	HPに載せるということなので、例えば目次のページをクリックすると下にできるような形にするのか、それともPDFでまとめて1つで載せるのか、どちらで考えているのか。	基本的にはPDFファイルの形で、創生会議の項目を会議録の形式で掲載する。またいただいた意見に対し、実行計画(案)を修正したかしないかという一覧表にする。	企画課	無	全般
8	折角これだけしっかりした資料を作っても、やっぱり見てもらわないと折角の労力が無駄になってしまう。例えば5・6・7Pがあり、そこにページ番号が書いてあれば、リンクを貼って、クリックをすると新しいページが出るようにすると	実行計画及び事業シートは、毎年度のPDCAサイクルの中で必要があれば修正を加えていくこととしているので、ページの増減等も予想されるため、技術的・労力的な部分を含め、検討する。	企画課	無	全般

No.	市議会全員協議会意見	意見に対する市の考え方	担当課	計画案修正の有無	実行計画ページ番号
	市民の方にも見てもらいやすいのではないかと検討して欲しい。	(追記) 見やすさの観点から検討の結果、できる限り見やすくファイルを分割して掲載する。			
9	罫線が消えているところがある。	確認し、修正する。	企画課	有	全般
10	これを始めて見る市民は混乱をしてしまうと思う。1ページでも見方のページを作ったらいかかと思うので、検討して欲しい。	実行計画2P・3Pに様式及び進行管理について記載している。	企画課	無	全般
11	総合戦略の目標値が、18Pは認知性サポーター養成講座累計受講者数ということで、表の上の成果目標とあっているが、16・17・19・20ページについても、認知性サポーター養成講座累計受講者数となっている。16～20Pの総合戦略の目標値はこれで良いのか。	16～20Pの総合戦略の目標値については、昨年度決定した総合戦略の目標値を記載している。	公民館 ・市民会館 介護福祉課 社会福祉課	無	16P～ 20P
12	成果目標値が書いてあるから、それぞれに総合戦略の目標値は出したほうが、この表としては完成するのではないと思う。	総合戦略の目標値には、昨年度決定したものを記載している。一方この事業目標は、本事業における目標を今回設定しているところであり、総合戦略の目標値については昨年度決定済み。	介護福祉課	無	16P～ 20P
13	17Pの成果目標は、老人クラブの会員数を指標とされているが、総合戦略の目標値はサポーターの養成講座で良いのか。	昨年度決定した総合戦略における目標値を記載している。事業目標については、細部のものを成果目標値として掲げている。	介護福祉課	無	17P
14	例えば交通機関の規制緩和をできるような特区申請だとか、そういったものに着手していくようなことを盛り込めば、できるできないではなく、こういうことをやってみようだとか、極端なことを言えば、バス路線がそもそもない地域があるので、そこから今度視点を広げていかないと、最終的に目指すべき目標の暮らしやすく移住しやすい環境づくりとか、基本的な施策の方向性である交通利便性の向上というところには、ずれてしまうのではないと思う。未来に向けてのこと	バスに対する補助の40,696千円についての内訳についてはホームページで広く市民に周知し、現状を市民に知っていただいている。 需要を的確に把握し、今後の公共交通の利便性維持に対して取り組んでいくというのが、29年度に関係者間で集まる協議の場所を設置するというものである。	企画課	無	24P・ 25P

No.	市議会全員協議会意見	意見に対する市の考え方	担当課	計画案修正の有無	実行計画ページ番号
	も、盛り込んで欲しい。				
15	<p>対処療法的な実行計画でしかないというのが、総合的な感想。実行計画 24P、25P、これを見てみて維持に特化した実行計画ではないのかなという気がしてならない。現状での、電車・バス・フェリーの利用者数を調べて、まずは維持を目標にしましょうということについては、特に異論はない。次のページのバスストップの施設事業については、バスストップができてくれば高速バスの停車便数が増えるというのは、当然と言えば当然なので、30年度完成予定なので、31年度までの5カ年計画で、バスストップへのアクセスを向上しなければ意味がない。それが駐車場の整備だけかというところでは、決してそうではないというのは、期待もされているし、見えているところだと思う。先見性を持った実行計画というものを盛り込んで欲しい。</p>	<p>主に特にハード事業を考えて作っている部分がある。例えば路線バスの延伸だとか、タクシー乗り場の設置だとか、そういうものについては、バス事業者と担当部署と建設課と三者で一体となって今後協議を進めていきたい。</p>	<p>企画課 建設課</p>	<p>無</p>	<p>24P・ 25P・ 26P</p>
16	<p>山王下飯野線の整備に関しては、もともとは交付金事業で、後半の3年間で先延ばしになっていたと思うが、計画について、もう少し具体的に説明して欲しい。</p>	<p>5カ年計画で28年度完成を目指して実施していたが、国の交付金の交付割合が非常に低く、国交省へ事業の延伸をお願いしてきた。同じ事業の事業延伸では、交付金割合が悪いという状況が想定されたので、浅間山の道路整備などと含めた中で、千葉県のパッケージの中に組み入れ、まずは浅間山線で平成30年にバスストップが完成するので、そこを最優先にして、次に市道山王下飯野線、それと本郷バイパスを県の方が着手しているので、下飯野線、こちらの整備をまずは優先するということで、27・28年度で千葉県と協議をして、平成29年度からは、道路事業に移行して事業を進めていきたい。社会資本整備事業で実施しない理由は、今、補助金の割合が悪いといった話と、大貫駅周辺の整備事業は、道路事</p>	<p>建設課</p>	<p>無</p>	<p>29P</p>

No.	市議会全員協議会意見	意見に対する市の考え方	担当課	計画案修正の有無	実行計画ページ番号
		業しなくなってしまったので、社会資本総合整備交付金の対象になることも難しいということで、市として優先してやる事業の浅間山線、山王下飯野線、下飯野線、それらを全てパッケージで道路事業で実施したい。			
17	実行計画書 29Pの交付金は、社会資本総合整備交付金となっているが、入れ替わる可能性があるということなのか。 28年度以降の事業については、未定なので、29Pの計画の中で載せているということなのか。	社会資本総合整備交付金、今使っている事業は28年度までで一回締めて、その事業効果の検証を行い、今度は違う事業に乗り換えて行きたいと思っている。 概ねこの事業というのは決まっているが、まだ100%決定していないので、このまま掲載している。	建設課	無	29P
18	社会資本の整備は、多分市にとって一番お金がかかる。交付金次第でどうにでもなっていってしまい、一番財政運営では難しいところというか、悩みどころだと思う。長期的に考えなければいけないし、将来を見据えた事業なので、やらないと言うわけには行かないと思う。何とか上手く市民のコンセンサスを得ながら進めていただきたいと要望する。	国の交付金事業の動向に注意を払いながら、関係機関や県と連絡を密にして事業を推進する。	建設課	無	29P
19	実行計画書 31P32Pに出てくるが、地方創生加速化交付金は28年度単年度の交付金なのか。29年度以降はどういう見込みなのか。	富津市観光しごと移住推進プロジェクトのために設立されるNPO法人オール富津情報交流センターの事業については、27年度繰越事業なので、28年度単年度の事業。また、加速化交付金も28年度限りの事業である。	企画課	無	31P・32P
20	P31・32について、29年度以降にも色々計画があるが、AFICCの活動を自主財源でやっていくということを想定しているのか。	AFICCが今月設立されるので、その中で今年度の計画書以前説明したとおり、来年度は自立に向けて取り組むという計画書である。来年度以降、今のところ事業費は入っていない。	企画課	無	31P・32P
21	29年度以降の主な事業の財源というのは、どんなことを想定しているのか。	今年度の計画書のとおり、来年度以降自立に向けてということなので、団体が考える自主財源で運営していく。	企画課	無	31P・32P

No.	市議会全員協議会意見	意見に対する市の考え方	担当課	計画案修正の有無	実行計画ページ番号
22	今年度加速化交付金でAFICCが設立されて、その後事業をどうするのか。	加速化交付金の計画書では、自主財源、つまり顧客からの売り上げ等を活動資金にしていく。	企画課	無	31P・ 32P
23	活動資金となる売れる商品とは、具体的にどのようなものか。AFICCの仕事はたくさんあると思うが、実行計画80Pにも宿泊滞在型観光事業とかあると思うが、例えば、一体のものとして、AFICCとして事業主体として全部いろいろなものを作っていったり組み合わせて収益を確保していくということか。	宿泊滞在型観光事業については、房総南部地域3市1町と富津市で組織する、宿泊・滞在型観光推進協議会に負担金を支出し、県の補助金と併せて継続的に実施する事業であり、AFICCの事業とは別事業である。	商工観光課	無	31P・ 32P・ 80P
24	実行計画32P。平成27年度に地方創生加速化交付金77,300千円が平成28年3月に交付決定。平成28年度予算額51,300千円。観光仕事移住推進プロジェクト実施について書かれている。これが地方創生加速化交付金事業なのかなと思っていたのが、その前に地方創生先行型交付金と書かれているので、これが51,300千円の地方創生加速化交付金事業で良いか、また、この内容についてどのような内容なのか。	JR浜金谷駅を結ぶ町の中心に観光ビューロを設置し、外国人を含めた観光客、サテライトオフィス誘致、二地域居住などの相談窓口を一本化し、市南部からの新しい人の流れを作る等、記載のとおり。	企画課	無	32P
25	まちひとしごと創生総合戦略の加速化をさせようということで加速化交付金が行われた。そうすると51,300千円の実行計画が、どういう事業とリンクしながら加速化の事業を推進するかというのを聞きたい。これが如何に総合戦略とリンクしながら富津市のためになるかということは今後、しっかり精査していただきたいと思う。使い道については、28年度決算であると思うので、その時にしっかり内容を私は質問したい。	既存の団体・企業（商工会、観光協会、市内金融機関、新富工場協議会、宅建協会等）との連携、事業者と利用者とを繋げる事業等を展開することにより、事業の推進を図る。	企画課	無	32P
26	実行計画書32Pなのですが、成果目標値の転入者数が毎年1300人ずつ転入してくるということになっているが、今現在、富津市で自然減・社会減合わせて毎年500人位ずつ減っている中で、転入者数が1,300人増えるということは、かなり計	29P成果目標値転入者数は、転入－転出については、マイナスである。ただ、転入者そのものが減少傾向ではないので、現状維持を目指すという設定をしている。転入者数の推移	企画課	無	32P

No.	市議会全員協議会意見	意見に対する市の考え方	担当課	計画案修正の有無	実行計画ページ番号
	<p>画としてしっかりしないと難しいと思うが、どのような形でこの数値を出してきたのか。</p> <p>社会増減を考えたら、減が続くので、減の幅を減らしていくという考え方で、この数字を掲げていると。やはりこれだと数字で増えているようには見えるけど、実際は減っている。それよりも転出が増えてしまったら意味がないものになってしまうので、やはり分かるように数を掲げるほうが良い。社会増減で増を目指すということで何人にするということのほうが、より、成果を取れるのかなと思っているので、検討していただきたい。</p>	<p>H23 1,412人、H24 1,307人、H25 1,477人、H26 1,405人</p> <p>それぞれ異なった強みのある南北2拠点を整備するとともに、その拠点を機能的に連携させるプロモーションプラットフォームを構築し、情報発信することにより、「点」として存在していた地域資源の魅力が「面」として繋がり、観光来訪者を移住に結びつけ、企業誘致により雇用を創出し、しごとから移住に結びつけることを目指すことから、富津市観光・しごと・移住推進プロジェクトの重要業績評価指標（KPI）を成果目標としている。</p>			
27	<p>33PにCCRCの話があるが、予算がない。具体的にどのようなことをやろうとしているのか。例えば不動産業者と連携するとか、そのようなことをやろうとしているのか。ただ載せているだけなのか。</p> <p>是非、進行管理を報告し、どんなことをどう検討して、やることになったとかだめになったとか、事業計画に載せる以上は大変だと思うが、きちんと動いていただきたい。具体的には民間との連携が必ずこの事業は必要になってくると思うので、その辺を含めて具体性をもった計画を出していただきたい。</p>	<p>この日本版CCRCについては、検討するということが載せている。実際の、これからのこのCCRCについて何をするというものではない。国を挙げての計画であるので、今後富津市としてどうするか検討するということが、実行計画には載せてある。</p> <p>毎年度PDCAにより、進行状況を報告する。</p>	介護福祉課	無	33P
28	<p>地方創生加速化交付金 77,300千円と実行計画P32の平成28年度予算額 51,300千円の差額は、実行計画44PのNPO法人オール富津情報交流センターが実施するイベントの連携の4,000千円。また、その次に出てくるのが76Pの外国語併記の案内看板設置、それと80Pの宿泊・滞在型観光推進事業</p>	<p>実行計画31Pも入っている。</p>	商工観光課 農林水産課	無	44P・ 76P・ 80P

No.	市議会全員協議会意見	意見に対する市の考え方	担当課	計画案修正の有無	実行計画ページ番号
	で良いか。				
29	<p>全体を通して言えることだと思うが、中には計画を見ると今までと同じことをずっと続けるという計画も幾つかある。その中で創生会議でも指摘されていたが、全体で人口が減ってきているので、その時々に対応するやり方を考えるべきだというように思う。例えば具体的な例として、80Pの海水浴場とか79Pの市体育施設管理運営事業などはそうだが、ほぼ同じ金額が計画として載せられている。一つ例を挙げて言えば海水浴場の管理運営に関しては、今までやってきたことをずっと同じようにやって行くという計画だが、これについて、やはり多少戦略性がある良いのではないかと。例えば、今だったらこのままで良いが、将来海水浴客のニーズの変化とか、そういうものについてどの様に対応していくのか。海水浴場は5つあるが、それぞれの海水浴場のあり方というものをもう少し検討していくべきではないかと思う。他の議員の皆様の中でも海水浴場というか海に関しての検討というか取組などされているという噂を聞きますが、その中で行政がどの様な戦略を持ってやっていくかというのを示していかないと新しい取組はできないのではないかと。この計画を見る限り、今までと同じように今までと同じような海水浴場に監視員を配置して、トイレの整備をしてということに終始する。それで、5年後10年後に果たしてこの中の幾つかの海水浴場が生き残れるかということをもう少し具体的に検討して考えたほうが良いのではないかと思う。同じく体育施設に関してもそうだが、議員の中でもオリンピックに絡んで色々な提案・提言が出ていると思うが、全く考慮されていない気がする。それについてはどの様に戦略を含めてどう考えているのか。</p>	<p>海の関係海水浴場5箇所の関係は、漁業協同組合と、今ジェットスキーの協会がある。そちらの調整をした中で、ジェットをどうするのかというのが、今、海の中で一番大きな問題ではないかと思っている。漁組のほうでは漁場を荒らされていけないという話もある。マリンスポーツ・観光面では富津市としては重要なものという位置付けもある。海水浴場も5箇所をずっと存続させていくのかということは、なかには3つで良いのではないかと言う人もいるし、海の家をやっている方々の意向もあるので、確かに5箇所のままやっているの、今年度、ジェットについても、条例制定の考えを持った中で、整備をしていきたい。もう一つ、体育施設の関係、建設経済部の所管はふれあい公園だが、この計画の中にもあるが、テニスコートの人工芝が大分古くなってしまって、何とか直したいということで、平成29年度に toto 交付金の応募をしようとしている。</p>	商工観光課 生涯学習課	無	79P・ 80P

No.	市議会全員協議会意見	意見に対する市の考え方	担当課	計画案修正の有無	実行計画ページ番号
30	<p>個々の担当は一生懸命やればやるほど個別で最適化を求めていくので、今みたいな話になる。例えば、海水浴場を減らすのか、5つ維持するのか、先ず、大前提として5つ維持するのであればどういうあり方が必要なのかは、政策的・政治的判断が必要だと思う。部長・課長が判断できることではない。それを示すのが行政執行部の責任ではないかと私は思う。</p> <p>大きな方針というのを個々の担当者だけではなく、全体として持つべきだと思う。それがないと施設整備は絶対に進まないとかまともにはできないと思う。芝生の張替えは、富士見テニスコートは必要だが、全体として、2020年の東京オリンピックに関して何を対応できるのかというのは、大きく深読みする立場がないと先に進まないのではないかとと思う。</p>	<p>今4市で広域で対応したらどうかという話で、何回か話し合いを持たれて、今進んでいるので、そういう対応が今の現段階では一番良いのかと考えている。他の関係についても、今広域でやろうとしているものもあり、そういうものも含めて4市の担当レベルで話し合っ、それをまた持ち帰って市長に協議して方針、また議会にも説明していくという方向で進んでいるので、単独でこれをやりますとかやりませんかとかという話ではないと思うので、やれるものはやる、やれないものはなんでやれないのかということで、これを結論付けることが重要かなと思っている。</p>	商工観光課	無	79P・80P
31	<p>4市との連携についての進行管理とか、状況の説明というのがある程度必要なのではないか。これもう、6・7年前、富津公園の、長く言えば福原議員などは、はじめからスポーツ施設を活用するというので、ずっと長らく提案・提言続けてきていると思うが、どうも私たちからするとその進捗が見えてこない。痺れを切らして私たち自身が、例えば木更津の市議会の人たちと協議すると、もう、江川で陸上競技場を作ることで進んでるよみたいな話をされてしまうと、あれ？どうなってしまっているのかなという感じになる。</p>	<p>執行部と議会との共通認識を各市、また4市でも持っていかなければいけないと考えているので、先ほど言った、メリット・デメリットまた、改善点ということで整理しなければいけないということを決めた上で進んでいくということが理想だと思っている。</p>	企画課	無	79P・80P
32	<p>80Pの、宿泊・滞在型観光推進事業27年度9,900千円の内、富津市の負担が1,050千円。平成28年度の地方創生加速化交付金事業が8,500千円で、富津市が10,500千円を負担して実行できると思う。これは、NPO法人がやろうとしていることを私はそれなりにそう理解しているが、29年度以降、10,000千円の事業が毎年続く計画書になっている。富津市が1,050千</p>	<p>この事業の出資をしているのは、千葉県と富津市及び房総南部地域の3市1町で、28年度は加速化交付金があるので、その年だけが国費によって、特化した事業をやっているということで、プラス8,500千円となっている。</p>	商工観光課	無	80P

No.	市議会全員協議会意見	意見に対する市の考え方	担当課	計画案修正の有無	実行計画ページ番号
	<p>円負担して、この事業をやって行く。果たしてどの団体がやるかは書かれていないが、NPO法人がやるとした場合、10,000千円との差額の8,950千円のお金が果たして団体が、先ほど言ったようにNPO法人を維持するのが大変だと思うのですよ、この事業費というのがね。29・30・31年度とずっと継続されているけれども、この宿泊・滞在型推進事業の予算の内訳について説明して欲しい。</p>				
33	<p>28年度に関してはAFICCが8,500千円負担するということで、それ以降はAFICCの負担はなしで、差額分はこの事業者が調達するということか。</p>	<p>29年度以降は、千葉県の補助金と4市1町の負担金で宿泊・滞在型観光推進事業を実施し、そのうち富津市の負担分が1,050千円である。AFICCは入っていない。</p>	商工観光課	無	80P
34	<p>今までの、基本計画・基本構想、実施計画と一緒だなというように徐々に気付いていく。当然、これはこれでどれもこれも重要なので、しっかりと進めて欲しいが、自分が当初イメージしていたものは、恐らく、当時担当だった地方創生担当大臣の言葉をそのまま真に受ければ、知恵を出したところには、それ相応の交付金を出すけれども、知恵を出さなければ何もないという、あの言葉をそのまま受け止めていた人たちは、少しイメージが違っていると思う。自分の思っていたイメージとは27年度末の地方創生加速化交付金で、渡辺議員がAFICCの例を挙げたが、官民連携事業であったり、政策間連携、広域連携、地域間連携。そういうのをイメージしていたが、例えば本年度の補正であったりとか来年度の予算の中でそういうものが出てくるのか来ないのか、そういう情報というものはあるかどうか、教えて欲しい。内閣府のほうから27年度末にあった地方創生加速化交付金事業では、先駆性があるって将来的に自立が見込めるもの、政策間連携、地域間連携、官民共同、そ</p>	<p>本年4月に決定された、地方創生推進交付金が国費2分の1で法律補助になっている。それについて、官民連携、政策間連携という枠組みの中で申請するとされているが、新聞記事による国の第2次補正の28兆円の事業規模の中にこういうものが入るかどうかということについては、未だ情報はない。(追記)8月24日に閣議決定された平成28年度国第二次補正予算に盛り込まれた地方創生拠点整備交付金は、「未来への投資を実現する経済対策」(平成28年8月2日閣議決定)において「未来への投資に向けた地方創生推進交付金の創設」として位置づけられた。本交付金は、地方公共団体が進めている地方版総合戦略に基づく自主的・主体的な地域拠点づくりなどの事業について、地方の事情を尊重しながら施設整備等の取組を進めることを目的として創設されたものであり、本格的な事業展開の段階を迎えた地方創生の更なる深化を目指している。予算額は900億円</p>	<p>企画課 商工観光課 農林水産課</p>	無	AFICC事業

No.	市議会全員協議会意見	意見に対する市の考え方	担当課	計画案修正の有無	実行計画ページ番号
	ういった条件で出てきた。先駆的なものということでA F I C Cの取組が事業計画化されたと思う。似たような交付金が国から出てくるのか来ないのか、その辺りの情報収集がどうなっているのか教えて欲しい。	(事業費ベース：1,800億円)、補助率は1/2			
35	例えば国から指示が出てきたときに実現可能な実行計画として挙げられるように、ある程度昇華させておく必要がある。それだけでなく、例えばこれまでも議会から色々な提案をしている。市民会議でも創生会議でも色々な案が出てきている。国から交付金が示されたときに先駆性がある前回と同じであれば、官民協働、地域間連携、政策間連携、そういうものを出せるように今から準備をしておいたほうが良いと思うが。	今、市として力を傾注しているものは、総合戦略で決定した内容であり、戦略を着実に実行するための実行計画(案)を説明させていただいた。先ず、これに全力で行く。また新たなものが出てきたらというのは、非常によろしいことだと思うが、ただ、まだこれは情報で、全体枠でこれくらいの補正があるのではないかと、こういったものが見込まれるといったものまでは来ていない。市で実施している事業で先駆性があるものも、認められれば、そういったものがあつたときに、ここに合致するもの、またちょっと背伸びすればできるかなというもの、そういうものは直ぐ反応していきたいと担当サイドとしては考えている。	企画課	無	
36	25日にA F I C Cの方たちから説明会があるか。	8月の広報で既にお知らせしているとおり、市と新しく設立されたNPO法人与自然で事業内容についてのご説明を25日午後2時から行う予定としている。	企画課	無	
37	プロジェクトを進めていくには同じ熱さと同じ気持ちで内容を詰めて行っていただきたいと常に思っている。今後についても25日の説明会をしっかりと聴きたいと思っているが、そこで行政とA F I C Cとが本当に同じ気持ちでの回答やら目指すものやらを聞けることを節に希望している。	官民一体となって施策を実行するための推進主体としてA F I C Cを設立し、「富津市観光・しごと・移住推進プロジェクト」を実行する。	企画課	無	